

## 第3学年 社会科学学習指導案

- 1 単元名 「のこしたいもの、つたえたいもの」(東京書籍下)  
 ー浜崎地区に伝わる年中行事、浜崎祇園祭を通してー

### 2 単元について

- 本単元は、学習指導要領の内容(5)イ「地域の人々の生活について、『地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事』を見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする」ことをねらう。

これを受け、浜崎地区に江戸時代から伝わる年中行事である浜崎祇園祭を取り扱う。浜崎祇園祭は、長い歴史があり、地域の人々が先祖代々受け継いできた地域の発展を願う祭りである。子どもたちは、自分たちが生活している地域に受け継がれている祭りを学習することを通して、地域の発展を願った昔の人々の思いに気付いたり、今もそれを受け継ぎ後世に伝えていこうとしている地域の人々の努力や工夫について学習したりすることができる。したがって、地域の一員として、伝統文化継承の意識と自覚を育てていくことができる教材であると考えられる。

- 児童は、1学期の総合的な学習の時間において、山笠の飾りに使う「野面(のづら)」作りを経験したり、浜崎祇園祭の概略を聞いたりしている。この学習をする前は「浜崎祇園祭って何？聞いたこともない。」という児童もいた。一方で、7月に行われた浜崎祇園祭には9名の児童が曳き子として参加している。社会科の学習についての関心・意欲は高く、見学ができる、調べ学習ができる、まちのことを知るなどのできるなどの理由で学ぶ楽しさを感じている。

これまでの学習の様子を見ると、話し合い活動や考えたことを書く活動では、意欲が高く、積極的な児童が多い。しかし、討論の経験は少なく、質問とは全く違うことを書く児童も数名いる。

- 地域の人々に受け継がれ、現在も行われている浜崎祇園祭であるが、課題もある。「人形師がいなくなった」、「浜崎地区の人口減少」、「祭りに関わる人々の高齢化」などである。このような課題を放置すると、祭りを受け継ぐことができない可能性があることを考えさせたい。そのため、まず、祭りの意味を捉えさせたい。唐津地区の他の祭りには祭りの意味があることを調べさせ、浜崎祇園祭においても他の祭りと同様に人々の願いが込められていることに気付かせる。次に、家族や地域の人々の声を聞く活動を取り入れ、総合的な学習の時間において調べてきたことに加え、祭りへの願いや努力や工夫について調べさせる。さらに、ゲストティーチャーを迎え、山笠を作る人や曳く人が少なくなり、浜崎祇園祭がなくなるかもしれないという話を聞かせる。そうすることで、浜崎祇園祭を受け継いでいくプランを考えたいという意欲を喚起させる。プランを考える際は、祭りに協力している人々の立場と、協力したいができていない人々の立場から考えて、よりよいプランを練り合わせる話し合い活動を仕組む。それを受け、浜崎祇園祭の将来の姿について意見文が書けるようにしたい。

本単元は、歴史的分野の学習の導入であるとも考えている。そのため、歴史学習の進め方や意味を押さえることが大切であると考えられる。浜崎の町に関わる人々の思いがあり、それを受けた苦労や努力によって町や人々の様々な変化を遂げられたこと、そして、現在があり、さらにこれからどうなっていくのかを考えさせたい。その上で、浜崎の町の歴史的なよさや特徴を理解させることで、自分たちが暮らす町に対する誇りと愛情を育てたい。

### 3 単元の目標

浜崎祇園祭について調べさせることを通して、地域の人々がそれらを大切に保存し、継承しようとしている願いや工夫、努力を理解させ、継承するための課題について地域の一員としての自分の考えをもち、根拠を明確にして表現できるようにする。

#### 4 評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度【関】	社会的な 思考・判断・表現【思】	資料活用の 技能【技】	社会的事象についての 知識・理解【知】
<p>○地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事に関心をもち、それを意欲的に調べている。</p> <p>○地域の人々が受け継いできた浜崎祇園祭の歴史的な背景や地域社会の発展を願ってきた人々の生き方に関心をもち、地域社会のよりよい発展を考えようとしている。</p>	<p>○地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。</p> <p>○浜崎祇園祭を受け継いでいく方法を地域の人々の願いと受け継いできた人々の努力とを関連付けて考え、浜崎祇園祭の将来の在り方について、思考・判断したことを適切に表現している。</p>	<p>○曳き山会館などを観点に基づいて見学したり、地域の方から聞き取り調査をしたりして、地域の人々が受け継いできた浜崎祇園祭について必要な情報を集め、読み取っている。</p> <p>○調べたことを発表原稿や発表作品などにまとめている。</p>	<p>○地域の人々が受け継いできた浜崎祇園祭の様子を理解している。</p> <p>○地域の人々が受け継いできた浜崎祇園祭には、よりよい暮らしを願う人々の思いが込められており、今も大切に伝えられていることを理解している。</p>

#### 5 単元計画（全10時間 本時6/10）

過程	主な学習活動(○)	教師の働き掛け(○)	【主な評価】(・)	時配
学習問題をつかむ	<p>○唐津市内の各地区に伝わる祭りについて調べ、祭りにはそれぞれに込められた願いがあることを知る。</p> <p>○疑問に思ったことやもっと調べたいことを基に学習問題を作る。</p>	<p>○楽しいだけの理由で祭りをするのはなく、それぞれの祭りに込められた願いを予想させる。</p> <p>○児童に一番身近な地域の祭りである浜崎祇園祭について知っていることを問い、疑問を抱かせる。</p>	<p>・祭りに込められた願いに関心をもち、地域の人々が受け継いできた浜崎祇園祭についての学習問題を考え、調べようとしている。 【関】</p>	1
<b>なぜ浜崎祇園が続いているのか調べよう。 《学習問題I》</b>				
調べる	<p>○浜崎祇園祭について、総合的な学習で調べた内容を確認し、足りない情報をグループで観点を決めて調べる。</p>	<p>○浜崎祇園祭について、よく知っている児童とそうでない児童がいるため、学級全体で確認することでレディネスを調整する。</p>	<p>・浜崎祇園祭の概略と学習問題とを照らしあわせ、足りない情報を調べようとしている。 【関】</p>	1
	<p>○グループで決めた観点を基に調べる。</p>	<p>○浜崎祇園祭りに関わる人々の思いや願い、努力や工夫などに迫ることができるように、資料からだけではなく、観点に関わる人々への聞き取り調査も行わせる。</p>	<p>・地域の人々が受け継いできた浜崎祇園祭について必要な情報を集め、読み取っている。 【技】</p>	1
	<p>○浜崎祇園祭について、おじいさんやおばあさんに聞くことで今</p>	<p>○今と昔では祭りの様相が変わっていることに気付かせ</p>	<p>・浜崎祇園祭について、今と昔の祭りの変化</p>	

	と昔の様子を比べる。	るために、おじいさんやおばあさんが子どもの頃の祭りの様子を聞き取らせる。	について理解している。 【知】	1
	○グループごとに調べたことをまとめ、発表の準備をする。	○発表を意識させ、まとめたことに考えたことを付け加えさせる。	・グループごとに協力して調べたことをまとめている。 【技】	1
考え ・ まとめる	○浜崎祇園祭について調べたことをゲストティーチャーに向けて発表する。	○浜崎祇園祭に詳しい方をゲストティーチャーとして招き、調べたことを称賛してもらったり、継承する課題について話してもらうことで、地域の一員として考えようとする課題意識を喚起させる。	・浜崎祇園祭を受け継いでいく方法を地域の人々の願いと受け継いできた人々の努力とを関連付けて考え、適切に表現している。 【思】	1 本時 (6/10)
	○ゲストティーチャーの話を聞き、浜崎祇園祭のこれからについて課題意識をもつ。	○課題の解決策について自分なりのプランを考えさせる。(意思決定1)		
	○浜崎祇園祭を受け継いでいくために、解決すべき課題について自分なりの考えをもつ。	<b>論題 浜崎祇園を伝えるベストプランを考えよう。 《学習問題Ⅱ》</b>		
	○浜崎祇園祭の課題の解決策について話し合う。	○実現可能性、費用、効果の視点で児童が考えたプランを絞り込み、自分が支持するプランを選択させる。	・地域の人々が受け継いできた浜崎祇園祭には、よりよい暮らしを願う人々の思いが込められており、今も大切に伝えられていることを理解している。 【知】	1
	○話し合いに向けて自分の意見を整理する。	○根拠を明確にして意見が言えるように「こうだよカード」に書かせる。	・調べたことを基に、根拠を明確にして自分の意見を表現している。 【思】	1
	○ベストプランを選ぶ話し合いをする。(討論型)	○最終的な自分の意見がもてるように、プランを絞り込んだ際の視点を意識させた話し合いを行わせる。	・浜崎祇園祭の将来の在り方について、思考・判断したことを適切に表現している。 【思】	1
○未来の浜崎祇園祭について意見文を書く。	○話し合いで出た意見やこれまでの学習を基に、ゲストティーチャーへの提案を目的に意見文を書かせる。(意思決定2)	・地域の人々が受け継いできた浜崎祇園祭を通して地域社会のよりよい発展を考えようとしている。 【関】	1	

## 6 本時の目標

浜崎祇園祭を受け継いでいく方法を地域の人々の願いと受け継いできた人々の努力とを関連付けて考え、浜崎祇園祭を伝えていくためのプランを自分なりに表現することができる。

## 7 展開(全10時間 本時 6/10)

学 習 活 動	教師の働き掛け(○)と評価【】
1 学習のめあてを確認する。	○他の祭りと比べ、浜崎祇園祭の歴史が古いことが分かるように、いくつかの祭りの概要を掲示し、浜崎祇園祭を未来へ伝えたいという意欲をもたせる。 ○曳き山囃保存会の方に、調べたことを発表し、評価してもらうことを確認し、本時のめあてとする。
<b>めあて 浜崎祇園について調べて考えたことを発表しよう。</b>	
2 グループごとに調べて考えたことを発表する。 ・ 浜崎祇園祭の概要 ・ 歴史 ・ 願い ・ 行程 ・ 山囃 ・ 料理 ・ 今と昔の違い ・ 子ども山笠 3 曳き山保存会の方から話を聞く。	○しっかりと話が聞けるようにテーマごとに分担し、短い時間で発表させる。メモについても、初めて知ったことがあるときのみ書くことにする。 ○考えたことを伝えられるように、調べたことについてどう思うかをまとめさせておく。 ○浜崎祇園祭が九州でも有名な祇園祭りであることを理解できるような話をしてもらう。(事前に話の内容を以下の3点で打合せておく。)
<b>よい点(すごいところの補足)</b> ・ 博多, 日田, 浜崎は九州の三大流れ ・ 九州でも曳き山の高さはトップクラス	・ 児童の発表の内容, 態度を褒めてもらうこと ・ 浜崎祇園祭のすごいところ(発表内容以外) ・ 浜崎祇園祭りが抱えている課題
<b>問題点(抱えている課題)</b> ・ 東地区だけではやっていけなくなった ・ 浜崎地区以外の人にも曳いてほしい	○地域の人々に愛されていることが分かるように「曳き山を低くするぐらいだったら電気はいらない」というエピソードを話してもらう。 ○最後に浜崎祇園祭りが抱えている課題について話してもらい、課題の内容が意識できるようにする。
4 浜崎祇園祭りが抱えている課題を出し合い、最も重要な課題を1つに絞る。 <b>社会的な問題(解決すべき事柄)</b> ・ 曳き山を曳く人が減っていること	○祭りが毎年続いていくとは限らないことを、「伊万里トントン祭り」や「鏡くんち」の例を挙げて説明する。 ○曳く人が減っていることが課題であることを、人口のグラフや曳き山保存会の方の説明で確認する。
<b>論題 浜崎祇園を伝えるベストプランを考えよう。《学習問題Ⅱ》</b>	
5 浜崎祇園祭を未来に伝えていくためのプラン(解決策)を考える。 <b>振り返りのポイント</b> ・ 浜崎祇園祭を未来に伝えていくためのプランとその理由	○浜崎祇園祭を伝えていきたいということを、人々の願いや受け継いできた人々の努力などを根拠に挙げ、ワークシートに整理させ、それを基に、自分なりのプランを考えさせる。【評価】

## 8 本時の評価

単元の 評価規準	浜崎祇園祭を受け継いでいく方法を地域の人々の願いと受け継いできた人々の努力とを関連付けて考え、浜崎祇園祭の将来の在り方について、思考・判断したことを適切に表現している。 (社会的な思考・判断・表現)		
本時の 評価規準	浜崎祇園祭を受け継いでいく方法を地域の人々の願いと受け継いできた人々の努力とを関連付けて考え、浜崎祇園祭を伝えていくためのプランを自分なりに表現している。 (社会的な思考・判断・表現)		
判定基準 (判断のめやす)	「十分満足できる」状況(A)	「おおむね満足できる」状況(B)	「努力を要する」状況(C)
	浜崎祇園祭を伝えていくプランについて、自分なりの理由付けを付加して記述している。	浜崎祇園祭を伝えていくプランを記述している。	(B)に達していない児童
→(B), (C) と判断した児童への支援策		→なぜ、そのプランがよいのか理由を付け加えるように声掛けを行う。	→「お年寄りに優しいスーパーマーケット」の学習を想起させ、どんなプランでもよいことを知らせ、記述を促す。
評価方法	ワークシートの記述		